

平成 27 年 10 月 14 日

各 位

会社名 シダックス株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 志 太 勤 一  
 (JASDAQ コード番号 4 8 3 7 )  
 問合せ先 常務取締役 管理本部長 兼 IR 担当  
 若 狭 正 幸  
 (TEL. 0 3 - 5 7 8 4 - 8 9 0 9 )

### 平成 28 年 3 月期第 2 四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	82,500	700	310	100	2.57
今回修正予想 (B)	79,700	△1,080	△1,300	△1,430	△36.69
増 減 額 (B-A)	△2,800	△1,780	△1,610	△1,530	
増 減 率 (%)	△3.4	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	91,419	58	△197	3,733	95.78

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、主にレストランカラオケ事業において、様々なキャンペーン・イベント企画等の実施による売上計画達成に向けた取り組みを行ってまいりましたが、個人消費が本格回復に至らない中、競合他社との低価格競争及び他業種との顧客獲得競争の激化等の影響により、当初計画を下回る結果となりました。

利益面につきましては、当社グループのスケールメリットを活用し、原材料高騰の抑制に努めるとともに、労務費の原価管理の徹底、店舗運営経費の見直し並びに間接部門を中心とした販管費の適正化に努めてまいりましたが、主にレストランカラオケ事業の売上高減少を補うまでには至らず、当初計画を下回る結果となりました。

なお、下期の業績動向につきましては、各事業セグメントにおいて材料費・労務費の原価管理の徹底と経費の圧縮を継続し利益の増加を図ってまいります。また、レストランカラオケ事業の売上拡大戦略として、10 月 1 日よりラインナップを大幅に増加させた「新グランドメニュー」、「旬の食材を使用した季節限定メニュー」、「新忘年会コース」、「夜の特別スタンプカードサービス」等、メニュー・サービスを刷新するとともに、外交営業を強化し、特に年末の宴会獲得に注力することで収益の増強を図ってまいります。

通期の見通しにつきましては、レストランカラオケ事業での最繁忙期である第3四半期において、上述の施策実施により収益の拡大を図るとともに、事業ポートフォリオの再構築における選択と集中により収益基盤の強化を推進していくことから、現時点では前回発表予想からの変更はありません。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以 上